

治山と林道



第23回 民有林林道木材使用工事コンクール 日本林道協会会長賞
 工事名 令和2年度 広域基幹林道整備事業 金城弥栄線 第3工区その14道路工事
 受賞者 島根県浜田県土整備事務所 農林工務部 治山・林道第一課
 島根県産間伐材による間伐パネルの施工

目次

あいさつ	一般社団法人島根県森林協会 会長 梶野 弘和	1
島根県農林水産部	森林整備課長 和田 尚	2
令和5年度	林業関係幹部職員紹介	3
県からのお知らせ	林業課	4
	森林整備課	5~8
会員コーナー	益田市	9
	石央森林組合	10
県の取り組み紹介	島根県浜田県土整備事務所	11
トピックス	島根県山地防災ヘルパーによる治山施設点検支援	12
森林協会からのお知らせ	島根県林野関係事業意見交換会	13
令和5年度	市町村担当課一覧表	14
令和5年度	島根県森林・林業関係組織表	15・16

あいさつ

一般社団法人 島根県森林協会

会長 楢 野 弘 和



会員をはじめ関係の皆様には、平素より森林協会の事業推進に格別のご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年1月10日に林業関係6団体（島根県森林組合連合会、島根県木材協会、島根県森林協会、島根県林業公社、島根県素材流通協同組合、島根県合板協同組合）の主催による「しまね林業・木材振興大会」を開催しました。

本大会には、林業・木材産業関係者約200人が参加し、県内の原木生産が10年前の約2倍の66万m³に拡大し、森林の公益機能の発揮はもとより、雇用の創出や地域経済の発展に貢献してきたこと、また、ウッドショックやロシアのウクライナ侵攻等による外国産木材の供給不安から国産材の価値が見直される中、更に取り組みを進めることを確認したところです。当協会としまして、更なる原木生産量の拡大に向け、生産コストを削減する林業専用道や森林作業道などの林内路網の整備促進に引き続き取り組んで参ります。

一方、近年の気象変動に伴ってこれまで経験したことのないような集中豪雨が発生しており、地形が急峻で地質が脆い島根県では、これまでに以上に山地災害の激甚化や多発化が懸念され、こうした災害に備えて治山対策の一層の強化が求められています。

こうした状況を踏まえ森林協会では、県、市町村、森林組合や林業関係団体と連携して各種森林・林業施策の実現と森林・林業関係予算の確保のための要望活動、森林・林業についての普及啓発事業、研修事業等に取り組むとともに、県から運営を受託している「しまね森林活動サポートセンター」において、企業等の森林整備によるCO₂吸収認証や、将来を担う子供たちの野外体験活動「みーもサマースクール」などを実施することとしております。また、「森林経営推進センター」では、市町村での森林経営管理制度の円滑な運用に向けて、各地域協議会での技術サポートや職員向けの実務研修会など、地域の実情に応じた支援を引き続き行ってまいります。

今後とも、森林協会の活動に一層のご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

あいさつ

島根県農林水産部森林整備課

課長 和田 尚



会員の皆様には平素より島根県の森林・林業・木材産業施策の推進に御協力いただき厚く御礼申し上げます。

本県農林水産業振興の実行計画である「島根県農林水産基本計画」（令和2年度～6年度）は計画期間の後半に入り、これまで関係者と一丸となって取り組んできた成果が徐々に現れつつあります。林業のコスト低減を進めるために重点的に推進する事項の一つである「原木生産の低コスト化」では、循環型林業拠点団地の設定と団地内から効率的に原木を搬出するための林業専用道の集中整備に取り組むこととし、これまで70団地を設定し17.5kmの林業専用道を整備しました。高性能林業機械の導入による生産効率の向上も併せ、原木生産コストは4年度末時点で4%ダウン、目標とする6%ダウンの達成まであと一歩に迫る状況です。この勢いを途絶えさせないことはもちろんですが、目標達成までのスピードを加速させるため、本年度から新たな取り組みとして中規格作業道の整備の支援を始めます。中規格作業道は車道幅員2.8m（全幅員3.4m）で、原木を搬出するトラック走行が可能な新たな規格の作業道として従来の森林作業道と林業専用道の両方の機能を併せ持ちます。単価が安く短期間で開設できる道によって、原木生産がより一層拡大することを期待しています。

また県内に甚大な被害をもたらした令和3年7月、8月豪雨災害につきましては、関係者の皆様のご協力により復旧を進めていますが、4年度末時点での復旧進捗は契約率（件数ベース）で治山事業が87%、林道事業が76%となっており引き続き早期の復旧に努めます。昨年県内では災害が少ない年でしたが、次期豪雨に備えて早期に復旧を図る必要がありますので、関係機関と連携し復旧を進めるとともに、併せて山地災害を未然に防止するための治山対策を推進し、地域の安全・安心が確保されるよう努めてまいります。

最後に、今後も本県の森林・林業・木材産業の更なる発展と安全で豊かな暮らしを守る取り組みをより一層進めてまいりますので、会員の皆様の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度 島根県農林水産部林業関係幹部職員紹介



部長
のむら りょうた
野村 良太



次長（林業）
ながせ ひろし
永瀬 博



林業課長
まつむら あつし
松村 淳



森林整備課長
わだ たかし
和田 尚



林業課 木材振興室長
にしこおり まこと
錦織 誠



森林整備課 森林基盤整備・防災対策室長
うえだ つとむ
植田 勉



林業課 管理監
すぎはら まさひこ
杉原 雅彦



農山漁村振興課 鳥獣対策室長
はら たけお
原 健雄

令和5年度 島根県林業施策の概要

島根県 農林水産部 林業課・森林整備課

県では「伐って・使って・植えて・育てる」循環型林業の実現によって産業発展と環境保全の両立を目指しています。重点的に推進する「林業のコスト低減」、「原木が高値で取引される環境整備」、「林業就業者の確保」のための令和5年度の主な施策を紹介します。

R4補正+R5当初

林業のコスト低減

◆原木生産の低コスト化

① 林内路網整備事業	171,000 千円
② 林道事業（林業専用道分のみ）	650,000 千円
③ 循環型林業に向けた森林経営の収益力向上対策事業	93,216 千円

◆再造林の低コスト化

① 造林事業（新植・保育）	651,146 千円
② 新植支援事業	60,000 千円
③ 林業種苗供給力強化事業	5,000 千円

原木が高値で取引される環境整備

◆製材用原木の需要拡大と安定供給

① 円滑な木材流通対策事業	11,500 千円
② 製材力強化事業	29,169 千円

◆高品質・高付加価値木材製品の出荷拡大

① 県産木材利用促進事業	83,200 千円
--------------	-----------

林業就業者の確保

◆新規林業就業者の確保・林業就業者の定着強化

① 意欲と能力のある林業経営者育成・就業者確保総合対策事業	157,961 千円
② 高校生等に向けた林業就業講座事業（水と緑の森づくり事業）	8,500 千円
③ 林業就業促進資金	47,800 千円

総合対策

◆林業・木材産業循環成長対策（森林・林業の一体的な支援）	1,574,320 千円
◆合板向け原木の一時的な供給先転換支援	26,419 千円
◆国際競争力・木材供給基盤強化対策【R4 補正】	360,312 千円
◆新たな森林管理システム推進事業（市町村実施体制支援）	12,000 千円
◆森林整備地域活動支援交付金（森林経営計画作成、境界明確化を支援）	47,801 千円
◆水と緑の森づくり事業（荒廃森林再生、県民参加の森づくり）【再掲】	195,000 千円

上記のほか、林野公共関係予算なども計上

総 額	【R05 当初】	（対前年度 92.69%）	11,357,710 千円
	【R04 補正+ R05 当初】	（対前年度 93.14%）	11,826,052 千円

治山事業について

島根県 農林水産部 森林整備課
森林基盤整備・防災対策室
治山係

1. 治山事業の概要

治山事業は、森林の維持造成を通じて山地災害から県民の生命財産を保全し、また水資源の涵養、生活環境の保全・形成等を図ることを目的として推進しています。

2. 令和4年度事業の概要

令和4年度は、目的の達成のため以下の事業の推進を図りました。

令和4年度 治山事業実績

(単位：千円)

事業区分	箇所数	本工事費等
【国庫】		
補助治山事業	41	754,600
治山事業（農山漁村地域整備交付金）	15	306,000
補助治山事業（強靱化補正分）	31	955,000
【県単】		
自然災害防止事業	2	13,900
施行地管理事業（通常分）	6	20,000
施行地管理事業（浚渫分）	5	90,000
治山施設長寿命化事業	1	6,000
【災害】		
自然災害防止事業（県単）	20	379,200
治山施設施行地管理事業（県単）（通常分）	23	246,460
治山施設施行地管理事業（県単）（浚渫分）	10	56,500
林地崩壊防止事業（県単）（県負担分のみ）	48	158,623
計	202	2,986,283

◆林地荒廃防止事業

（雲南市掛合町掛合地内 大向地区）



【谷止工による国道や人家の保全（溪間対策）】

◆森林整備対策

（益田市匹見町石谷地内）



【保育事業での本数調整伐工による森林の保全】
伐採した木を利用し筋工を施工することで表土流出の防止を図る

3. 令和5年度事業の概要

令和5年度の治山事業は、台風、梅雨等による集中豪雨等により起因した災害から県民の生命・財産を保全するとともに、水源涵養、生活環境の保全・形成等を図るため、コスト縮減を図りつつ、緊急度の高い箇所から計画的に事業を推進します。

特に、次の項目について重点的に取り組みます。

- ①国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」令和4年度補正予算を活用した集中的な施設整備
- ②施設整備と一体的に行う保安林指定目的達成のための森林整備
- ③個別施設計画（「長寿命化計画」）に基づく施設点検
- ④島根県木材利用率先計画に基づいた県内産木材の利用促進

令和5年度 治山事業実施計画（島根県当初予算）

（単位：千円）

事業区分	本工事費等	対前年比（当初比）
【国庫】		
補助治山事業	754,720	
山地治山総合対策	754,720	
復旧治山	446,000	
緊急総合治山	15,000	R5 新規事業
緊急予防治山	65,000	
防災林造成（海岸等）	59,000	
保安林整備	94,720	
保安林総合改良	13,300	
保育	81,420	
流域保全総合治山	75,000	
治山事業（農山漁村地域整備交付金）	297,900	
予防治山	27,000	
林地荒廃防止	270,900	
国庫計	1,052,620	99.2%（強靱化除く）
【県単】		
自然災害防止	13,900	
治山施設長寿命化	6,000	
治山施設施行地管理事業（通常分）	20,000	
治山施設施行地管理事業（浚渫分）	77,102	
治山事業調査設計	14,245	
県単計	131,247	91.1%
合計	1,183,867	98.3%（強靱化除く）

4. ソフト対策について

災害の未然防止・復旧対策などのハード事業と併せて、以下のソフト対策に取り組み、総合的な土砂災害対策を図ります。

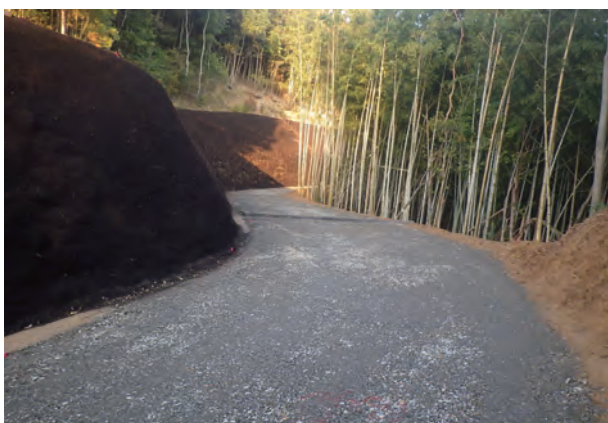
- ①山地災害危険地区の情報提供（県ホームページ）
- ②山地災害防止キャンペーンの実施による啓発活動、治山施設の点検活動（5月20日～6月30日）
- ③山地防災ヘルパーや地域住民による危険地区・施設点検、防災講習会への支援（治山アドプト制度）
- ④農林水産部・土木部と連携し、模型を利用した出前講座、チラシを使った広報活動など防災知識の普及・啓発活動

林道事業について

島根県 農林水産部 森林整備課
森林基盤整備・防災対策室
林道係

1. 林内路網整備の取組

県内林業の更なる発展を目指し、県は農林水産基本計画に掲げる「原木生産の低コスト化」に取り組んでいます。林道事業はこの実現に向け、効率的な原木運搬に必要な林業専用道等の整備を進めます。



林業専用道開設事業（県営）高丸山線



林道開設事業（県営）金城弥栄線

2. 令和4年度事業の概要

国庫事業を活用し、林業専用道を中心に整備しました。

令和4年度林道事業実績

（単位：千円）

事業区分	事業費	路線数等
森林環境保全整備事業（県 営）	296,617	5路線（うち林専道3）
〃（団体営）	238,268	7路線（うち林専道1、改良6）
道整備推進交付金事業（県 営）	360,000	5路線（うち林専道3）
農山漁村地域整備交付金事業（県 営）	1,054,000	8路線（うち林専道4）
〃（団体営）	109,520	4路線（うち改良3）
県単独事業（県 営）	69,500	3路線（うち改良2）
計	2,127,905	

※実績は、令和4年度補正予算、令和5年度への繰越を含む

3. 令和5年度事業の概要

(1) 基本方針

- ・島根県農林水産基本計画に基づき、林内路網（林道、林業専用道）の整備を推進します。
- ・県営及び市町村営林業専用道の開設を促進します。
- ・新技術の採用や最適なルート選定により、事業コストの縮減に努めます。
- ・開設効果の早期発現のため、重点的な予算配分により早期完了を目指します。
- ・工事現場において、県内産木材を積極的に利用します。

(2) 令和5年度事業計画

前年度に引き続き、森林環境保全整備事業や農山漁村地域整備交付金等の国庫事業を活用して整備を進めます。また、林業専用道の新規1路線（団体営1路線）に着手します。

令和5年度林道事業計画（県当初予算）

（単位：千円）

事業区分	事業費	路線数等
森林環境保全整備事業（県 営）	136,500	6路線（うち林専道5）
〃（団体営）	91,100	6路線（うち林専道3、改良3）
道整備推進交付金事業（県 営）	397,400	5路線（うち林専道3）
農山漁村地域整備交付金事業（県 営）	964,500	8路線（うち林専道4）
〃（団体営）	119,855	4路線（うち改良3）
県単独事業（県 営）	97,838	3路線（うち改良3）
計	1,807,193	（対前年当初比101.6%）

4. 林道施設災害復旧事業

令和4年の林道施設災害は、9月18日から19日にかけての台風14号により県西部中心に、合計33路線52箇所、約8千万円の被害を受けました。

令和3年には7月から8月にかけての豪雨・台風により全県で合計221路線1,111箇所、約34億2千万円の激甚な被害を受けており、引き続き早期の復旧を目指します。

（単位：箇所 千円）

年災	区分	全体計画	2年度	進捗率	3年度	進捗率	4年度	進捗率	5年度	進捗率
2年災	箇所数	98	72	70%	93	95%	98	100%		
	事業費	598,644	420,857		147,423		30,364			
3年災	箇所数	257			150	62%	229	92%	257	100%
	事業費	1,601,782			992,629		486,359		122,794	
4年災	箇所数	1							1	100%
	事業費	22,959							22,959	



令和3年災 石浦野坂線 被災状況



令和3年災 石浦野坂線 復旧状況



令和3年災 小田支線 被災状況



令和3年災 小田支線 復旧状況

益田市における森林環境譲与税の活用について

益田市 産業経済部 農林水産課

本市は、森林面積が総面積の約86%を占めており、豊かな森林に恵まれています。人工林率は約31%であり、多くの人工林において標準伐期を迎え、今後は主伐及び間伐を推進していくことが重要となっています。

このような現状の中で、令和元年度から譲与が開始された森林環境譲与税を活用した、林道や林内路網などの地域林業の基盤整備を図るとともに、森林経営管理制度による意向調査や再造林を含めた森林整備の促進、高津川流域材の利活用の推進などの事業を積極的に取組むことが必要になります。

その中から、森林境界確認事業及び森林作業道整備事業についてご紹介いたします。

1. 森林境界確認事業

森林整備の地籍調査事業が未実施で、かつ主間伐などの森林整備が見込める地域に対し、その山林所有者の調査及び境界を確認する事業を実施しています。

確認できた山林については森林経営管理制度による意向調査を行い、調査結果によっては「林業事業体の森林経営計画の対象とする」、「森林経営管理権集積計画の候補地とする」など、今後の森林整備に繋がっていきたいと考えています。

〔これまでの実績〕

令和3年度 猪木谷町地内山林：200ヘクタール

令和4年度 美濃地町地内山林：80ヘクタール

2. 森林作業道整備事業

森林の整備を推進し、豊富な木質資源の有効活用を促進することを目的として、高津川流域材の搬出のための2.5m以上の幅員の森林作業道を開設する際に、補助金を交付しています。

〔補助率〕 主伐目的：1mあたり1,000円

間伐目的：1mあたり1,500円

〔これまでの実績〕

令和3年度 主伐目的：2,969m、間伐目的：3,450m

令和4年度 主伐目的：5,168m、間伐目的：3,500m



石央森林組合の取り組み 次の時代へ新たな“芽生え”を

石央森林組合

石央森林組合では平成27年より、コンテナ苗の育苗を手掛けています。

全国的に人工林が利用期を迎える中、「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の確立のため、島根県が進める「伐採者と造林者による伐採と再造林等のガイドライン」に基づく連携に関する協定（覚書）を11の林業事業体と締結し再造林を年間20ha程度実施しています。

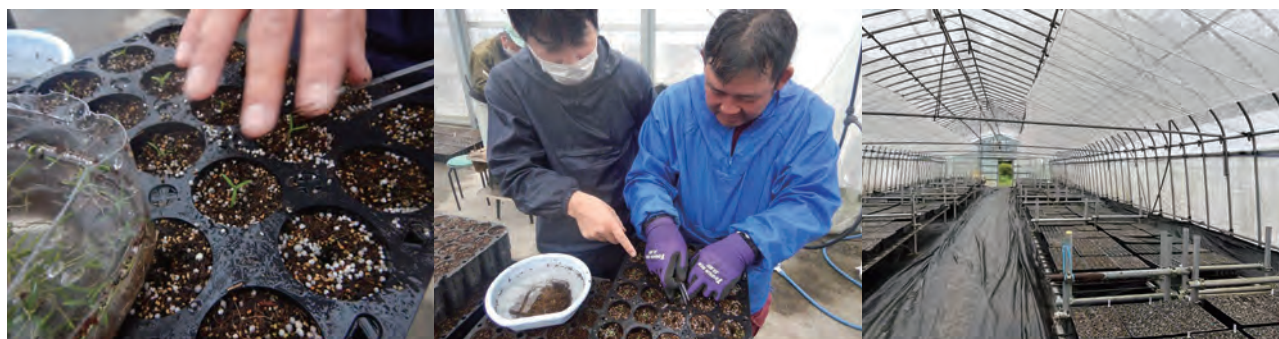
この連携協定により、一貫作業（伐採と並行又は連続して地拵えや植栽を行うこと）に取り組み、労働投入量の縮減や、安全性の向上が可能となります。

一方で、伐採と造林の作業時期を一致させる必要があることから、年間を通じて高い活着率が期待できるコンテナ苗の活用が重要となっています。

秋から春先はコンテナ苗の“芽生え”をマルチキャビティコンテナへ移植する時期となります。事務所職員を中心としてシフトを組んで移植作業にあたります。

移植作業では、小さい“芽生え”の根を傷めないように丁寧に育苗箱からピンセットで抜き取り、1本、1本をマルチキャビティコンテナへ移植します。

この小さい“芽生え”が成長し、苗木となり植林され、年月をかけて大木となります。



伐採され、製材所や合板工場で加工されるのは一瞬ですが、利活用されるまでに成長するには多くの時間と人の手が必要です。

造林の低コスト化や省力化に向けられた取り組みが進められていますが、山づくりの第一歩はこの“芽生え”なのです。

愛おしい気持ちで作業をしています。

林業専用道「高丸山線」でICT施工を実施します

島根県浜田県土整備事務所
農林工務部 治山・林道第一課

林業専用道高丸山線（江津市）は、市道高山線を起点とし、広大な造林地が広がる高丸山の北尾根を終点とする専ら林業の用に供する道路で、現在は2・3工区を平行して施工中です。

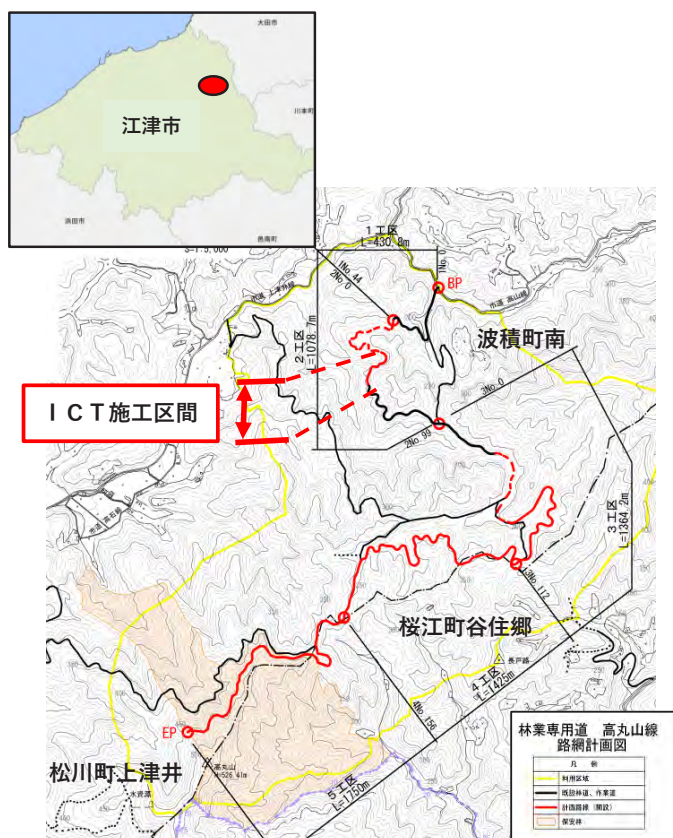
このうち、2工区において林業専用道では初めてとなるICT施工に取り組むことになりました。

島根県では、施工現場の省力化を図るとともに、生産性や安全性、施工管理の精度向上を目的とし、土工・舗装・法面工事において「ICT活用工事実施要領」を定め、積極的にICT施工に取り組むこととしています。

また、ICT施工は「3次元起工測量」「3次元設計データ作成」「ICT建機による施工」「3次元出来形管理等の施工管理」「3次元データの納品」の5項目で構成されており、現在、「3次元起工測量」を実施中であり、5月下旬からは「ICT建機」による工事が本格的に稼働します。

【ICT施工の取組内容】

- (1) UAV(ドローン)を用いて起工測量を行う。
- (2) 発注時の設計図書等を基に作成した3次元設計データと、3次元起工測量で得られた現況地形のデータを重ねて比較し、3次元施工データを作成する。
- (3) ICT建機に3次元施工データを搭載することで、丁張りなしで施工可能となる。車載モニターに設計データやパケットの位置等を表示し、オペレーターはその差分を確認しながら機械操作を行う。
- (4) 地上型レーザースキャナーを用いて出来形管理を行う。
- (5) 上記により、トータル的な現場の省力化や工程短縮を見込んでいる。



ICT建機による施工状況（例）



< 事業概要 >

路線名	高丸山線（たかまるやません）
事業名	県営林業専用道開設事業
事業主体	島根県
幅員	W=3.6m(車道3.0m)
総延長	L=6,050m
事業計画期間	令和元年度～令和10年度
総事業費	約9億円
利用区域面積	298ha

島根県山地防災ヘルパーによる 治山施設点検支援について

島根県山地防災ヘルパー協議会

島根県山地防災ヘルパー協議会は、島根県が森林土木事業を経験した県職員や市町村職員OBを山地防災ヘルパーとして認定した者の組織する団体で、災害から県民の生命・財産を守るため、山地災害の未然防止を図ることを目的に、情報収集や普及啓発などのボランティア活動を行っており、現在（令和5年4月1日）32名の会員が所属しております。

当団体では、令和4年度から新たな取り組みとして、島根県が策定した「島根県治山施設個別施設計画」の円滑な実施を図るため、同計画に基づいて島根県が行う定期的な点検業務の支援を行いました。具体的には、東部及び西部農林水産振興センター森林保全課の職員が行う現地調査に山地防災ヘルパーが同行し、調査対象の治山施設について健全度判定の助言や簡易計測・写真撮影等の補助を行うもので、令和4年9月から11月にかけて、県内5市町（松江市、出雲市、大田市、浜田市、吉賀町）で延べ24名の会員が活動しました。

県の担当者からは、「点検時の施設の見方や周辺の森林の状況について具体的なアドバイスを数多く頂き、大変参考になった。」等高評価を頂いており、今後も引き続きこの活動を行う予定です。

●「島根県治山施設個別施設計画」とは

当計画は、「インフラ長寿命化基本計画」「島根県公共施設等総合管理基本方針」「島根県農林水産公共施設長寿化基本方針」に基づき、島根県が管理する治山施設を対象に、予防的対策を講じつつ維持管理費の負担を軽減することにより、県民に必要な行政サービスを将来にわたって適切かつ効果的に提供することを目的に策定した今後10年間（令和3年度～令和12年度）の点検・修繕の計画です。

○計画対象地区数 5,775地区 計画対象施設数 21,308施設



谷止工確認状況（松江市玉湯町地内）



スリットダム確認状況（吉賀町地内）

令和4年度林野関係事業意見交換会を開催

令和5年1月27日東京都内において島根県の林業関係5団体（島根県森林組合連合会、島根県木材協会、島根県林業公社、水源林造林協議会、島根県森林協会）主催による「令和4年度島根県林野関係事業意見交換会」を開催しました。

この意見交換会は本県の林野事業の積極的かつ円滑な推進を図ることを目的に、毎年開催していますが、新型コロナウイルス感染拡大のため令和元年度以来3年ぶりの開催となりました。今回林野庁、森林研究・整備機構森林整備センター、島根県、関係団体など、関係者総勢約50名の出席の下で開催しました。

まず、林野庁から「令和5年度予算の概要令和4年度補正予算の概要」、「森林環境譲与税の取組状況」及び「林業労働安全の取組」について説明を受け、続いて各団体から、取り組み事例の紹介を行い、林野庁各課からそれぞれ懇切丁寧な回答、提案等をいただきました。

その後の自由な意見交換の場では、出席した多くの市・町長から、地域の林業を取り巻く厳しい現状や課題について、発言が相次ぎました。

これに対して林野庁からは、それぞれの施策についての考え方や今後の対応についての説明、また、地域の取り組みについての助言などがあり、活発な意見交換会となりました。

さらに後半の部には、島根県選出国會議員4名、織田長官をはじめ林野庁幹部の皆さん、森林研究・整備機構森林整備センター幹部の皆さんを迎え、島根の森林・林業・木材産業の活性化対策などについて、熱い議論が交わされました。



令和5年度 市町村担当課一覧表

(令和5年4月1日現在)

市町村名	担当課	担当	TEL	FAX
松江市	農林基盤整備課	治山・林道・森林整備	0852-55-5233	0852-55-5246
浜田市	農林振興課	治山・林道・森林整備	0855-25-9512	0855-23-4040
出雲市	農林基盤課	林道	0853-21-6895	0853-21-6592
	森林政策課	治山・森林整備	0853-21-6389	0853-21-6592
益田市	農林水産課	治山・林道・森林整備	0856-31-0675	0856-24-0452
大田市	農林水産課	治山・林道	0854-83-8103	0854-82-9731
	森づくり推進課	森林整備	0854-83-8178	0854-82-9731
安来市	農林振興課	森林整備	0854-23-3338	0854-23-3382
	農林整備課	治山・林道	0854-23-3349	0854-23-3382
江津市	農林水産課	治山・林道・森林整備	0855-52-7957	0855-52-1365
雲南市	農地整備課	治山・林道	0854-40-1068	0854-40-1069
	林業振興課	森林整備	0854-40-1056	0854-40-1059
奥出雲町	建設課	治山	0854-52-2675	0854-52-2377
	環境政策課	林道・森林整備	0854-54-2513	0854-54-0052
飯南町	建設課	治山・林道	0854-76-3942	0854-76-3943
	産業振興課	森林整備	0854-76-2214	0854-76-3950
川本町	地域整備課	治山・林道	0855-72-0637	0855-72-1136
	産業振興課	森林整備	0855-72-0636	0588-72-1136
美郷町	建設課	治山・林道	0855-75-1216	0855-75-0182
	美郷バレー課	森林整備	0855-75-1636	0855-75-1218
邑南町	建設課	治山・林道	0855-95-1120	0855-95-0171
	産業支援課	森林整備	0855-95-1116	0855-95-0171
津和野町	建設課	治山・林道	0856-74-0081	0856-74-0064
	農林課	森林整備	0856-72-0653	0856-72-1650
吉賀町	建設水道課	治山・林道	0856-79-2212	0856-79-2480
	産業課	森林整備	0856-79-2213	0856-79-2344
海士町	里山里海循環特命担当	治山・林道・森林整備	08514-2-1827	08514-2-0208
西ノ島町	環境整備課	治山・林道・森林整備	08514-6-1748	08514-6-0186
知夫村	地域振興課	治山・林道・森林整備	08514-8-2211	08514-8-2093
隠岐の島町	農林水産課	治山・林道・森林整備	08512-2-8563	08512-2-2460

令和5年度 島根県森林・林業関係組織表

(令和5年4月1日現在)

所 属		部	室・課・係等	TEL.
農 林 水 産 部	農林水産総務課 FAX (0852) 22-5967		団体検査室	(0852) 22-5398
	農山漁村振興課 FAX (0852) 22-6043		鳥獣対策室	(0852) 22-5160
	林業課 FAX (0852) 26-2144		経営企画係	(0852) 22-5170
			水と緑の森づくり係	22-6003
			公有林係	22-5161
			森林組合・担い手育成係	22-5159
			林業普及スタッフ	22-5153
			木材振興室	22-6749
			緑化センター管理スタッフ	66-3005
	森林整備課 FAX (0852) 22-6549		森林計画係	(0852) 22-5178
			森林保全係	22-5169
			森林環境保全スタッフ	22-6541
			造林係	22-5165
			森林育成係	22-5177
			森林基盤整備・防災対策室 治山係	22-5172
			森林基盤整備・防災対策室 林道係	22-5171
			森林基盤整備・防災対策室 長寿命化推進スタッフ	22-6551
	東部農林水産振興センター FAX (0852) 32-5690	総務企画部	調査計画スタッフ	(0852) 32-5682
		林 業 部	林業振興課	32-5664
			森林保全課	32-5666
	雲南事務所 FAX (0854) 42-9650	林 業 部	松江地域林業普及課	32-5667
			林業普及第一課	(0854) 42-9563
	出雲事務所 FAX (0853) 30-5589	林 業 部	林業普及第二課	42-9560
林業普及第一課			(0853) 30-5578	
西部農林水産振興センター FAX (0855) 29-5591	林 業 部	林業普及第二課	30-5579	
		調査計画スタッフ	(0855) 29-5589	
	林 業 部	林業振興課	29-5604	
森林保全課		29-5585		
浜田地域林業普及課	29-5613			
	林 業 部	林業普及第一課	(0855) 72-9567	
林業普及第二課		72-9568		
益田事務所 FAX (0856) 31-9608	林 業 部	林業普及第一課	(0856) 31-9584	
		林業普及第二課	31-9572	

所 属		部	室・課・係等	TEL.
総 務 部	隠岐支庁 農林水産局 FAX (08512) 2-9657	総務企画部	調査計画スタッフ	(08512) 2-9658
		林 業 部	林業振興・普及第一課	2-9647
			林業振興・普及第二課	2-9647
			島前担当	(08514) 7-9103
土 木 部	技術管理課 FAX (0852) 25-6329		農林設計基準係	(0852) 22-5942
	松江県土整備事務所 FAX(0852) 32-5669	農林工務部	治山・林道課	(0852) 32-5657
	雲南県土整備事務所 FAX (0854) 42-9661	農林工務部	治山・林道第一課 治山・林道第二課	(0854) 42-9567 42-9625
	出雲県土整備事務所 FAX (0853) 30-5606	農林工務部	治山・林道課	(0853) 30-5583
	県央県土整備事務所 FAX (0855) 72-9592	農林工務部	治山・林道課	(0855) 72-9572
	浜田県土整備事務所 FAX (0855) 29-5623	農林工務部	治山・林道第一課 治山・林道第二課	(0855) 29-5610 29-5612
	益田県土整備事務所 FAX (0856) 31-9609	農林工務部	治山・林道課	(0856) 31-9594
総 務 部	隠岐支庁 県土整備局 FAX (08512) 2-9760	農林工務部	治山・林道課	(08512) 2-9655
地域振興部	中山間地域研究センター FAX(0854) 76-3758	企画情報部	企画振興スタッフ	(0854) 76-3809
		農林技術部	きのこ・特用林産科	76-3815
			鳥獣対策科	76-3818
			森林保護育成科	76-3820
			木材利用科	76-3825
			県有林管理スタッフ	76-2302
農林水産部	農林大学校 FAX (0854) 85-7113	林業教育部	教育スタッフ 林業科	(0854) 76-2154
環境生活部	自然環境課 FAX (0852) 26-2142		自然公園整備係 自然保護係	(0852) 22-6433 22-5347
	廃棄物対策課 FAX (0852) 22-6738		調整スタッフ	(0852) 22-6167
商工労働部	大阪事務所 FAX (06) 6364-3854		しまね産品振興スタッフ	(06) 6364-3605

治山と林道 2023 No.128

発行 令和5年5月

編集 一般社団法人島根県森林協会
島根県松江市母衣町55番地

電話(0852)21-2669 FAX(0852)21-2231

<https://shinrin-shimane.jp/>

E-mail:kyoukai@shinrin-shimane.jp

印刷 東京印刷株式会社